



## 【八幡まちづくり作文コンクール 優秀作品 5点紹介】

八幡小学校の児童を対象に、4年生から6年生まで「八幡町」について思っていることを作文として募集したところ、49点の応募がありました。これらの作品を厳正なる審査のもと、特に優れている作文5点を優秀賞として選出し掲載します。

### 八幡八幡宮の大大神楽

四年 新井 章太

ぼくが住んでいる高崎市八幡町には、とてもきれいな八幡八幡宮があります。

この神社では春祭りと秋祭りがあり、ぼくはお祭りが大好きなのでいつも家族で行きます。お祭りでは大大神楽が行われていて、お面をかぶった人たちがおどっています。

この神楽を初めて見たとき、ぼくはとてもこわくてかかれています。お面がこわかったのです。でも、何度もお祭りに行き神楽を見てみると物語があつておもしろいなあと思うようになりました。おはよしも、ふだん聞くことがないような楽器でえんそうされていて、とてもきょう味がわきました。

八幡八幡宮の大大神楽について調べてみると、とても古くからあるそうで、平成元年に高崎市の重要無形民俗文化財第一号に指定されたことを知りました。これは高崎市に現在二十九しかない、大変貴重なものだそうです。高崎市以外からの人も八幡八幡宮や大大神楽を見に来るくらい有名なそうです。

自分の家や学校の近くにこんなすごい神社や神楽があつたことにおどろきました。昔から受けつがれてきた文化を今度はぼくたちが受けついでいこうと思います。



### わらいあふれる八幡町

四年 小杉 真司

ぼくは八幡の町が大好きです。ぼくは、三才の時に八幡町にひっこしてきました。さんぽにいくいろいろな人が声をかけてくれてやさしい人がたくさんいる町だと思いました。また、昨年三年生の総合の授業で昔の物がたくさんあることも知りました。ぼくは、この大好きな八幡の町がいつまでもみんながわらいあえる家族のように思える町であってほしいと思います。

そのために、ぼくが考えたことは三つあります。一つ目はあいさつをするなど声をかけあうということです。犬のさんぽをしていたり、見回りをしながら下さっている方に自分からあいさつして声をかけあいたいと思います。二つ目は町の人と関わることにたくさんさんかすということです。地いきのお祭りやイベント、草むしりごみひろいなどで地いきの人と話ができれば、わらいあふれる楽しい、家族のように思える町になる一歩だと思っています。三つ目は八幡には今も守っている古風な神社などの八幡のたから物がありまです。その八幡のたから物を地いきのみんなと協力して守っていくことで、家族のように思うことに、近づけると 생각합니다。みんな一人一人たから物はちがいます。地いきの大切なたから物をみんなのたから物と思つて大切にすることでおたがいが家族のように思えると考えました。

このように、ぼくは、いろいろな地いきのことに協力して、八幡の町が家族のように思える町にしていきたいです。そして、さいがいなどが起きた時も協力できる町にしていきたいです。



### 私の好きな八幡

五年 森田 明依

私は八幡が好きです。私の住んでいる八幡には、良いところがたくさんあります。私の八幡の好きなところは、あいさつができていて、笑顔であふれているところです。そして八幡の好きな場所は、八幡神社です。八幡神社が好きな理由は、お祭りがあって楽しいからです。そして、七五三や初もうででも、八幡神社にお参りをして、楽しい思い出がたくさんあるからです。

八幡の方々は、とても笑顔であふれています。登校する時には、旗ふりの人、パトロールの人が、いつもいてくれます。そして、笑顔であいさつしてくれます。とても元気にあいさつしてくれてうれしいです。そのおかげか、子どもたちも笑顔でいっぱいあいさつができています。私の心の中が、いつの間にか温かくなっている気がしました。なので、八幡の方々と子どもたちも、笑顔になる理由はあいさつがきちんとできているからだと思いました。

八幡神社 お祭りでは、春祭りと秋祭りがあります。私は、今年、友だちと春祭りに行きました。春祭りでは、フルーツあめや焼きそば、ポテトなどという屋台がありました。

時間になると、かぐらでんからたくさんのお菓子やおもちゃなどを投げてくれたり、紙をくれます。紙には番号が書いてあり、それぞれ景品が決まっています。私は、ヤクルトや洗剤をもらいました。とても楽しかったです。七五三や初もうでは、おばあちゃん、おじいちゃん、家族でお参りに行っています。初もうでは、今年に行ったので頭の中に八幡神社から見た初日の出の美しさが残っています。お祭り、七五三、初もうでは楽しかったです。

このように私は、とても楽しくすごしています。八幡神社に行った事がない人はぜひ行ってみてほしいです。毎日を楽しみたいです。

## わたしの住んでる八幡の町

五年 本多 美結

わたしが住んでいる八幡の町は、良い所がたくさんあります。

一つ目は、みはらし公園です。上から電車や景色が見えてとても大好きです。わたしはさんぽに行く時に、必ず通ります。

二つ目は人が明るく親切なところです。学校の帰り道などに、あいさつをすると明るい声で「こんにちわ！」

とあいさつをしてくれます。わたしは、元気で明るい八幡の人が大好きです。

三つ目は八幡二子塚古墳です。八幡の町の中には、古墳がありその近くには観音塚考古資料館があります。わたしは資料館に行ったことがあって、中にはたくさんのお土産品がありました。昔の時代の人が使っていたものが見られて、すごいと思いました。観光客の人が資料館に来たりしているのも、もっとたくさんの方の観光客の人に来てほしいなと思います。

四つ目は八幡神社です。八幡神社は、お祭りや、お参りや、おみくじなどができて、とても人だにぎわっている場所です。その中でも、わたしはお祭りが好きです。春祭りや秋祭りがあります。おかしつかみや、やたいがあります。やたいは、やきそばや、フルーツあめ、チーズハットクや、ロングポテトがあります。その中でも、やきそばがとてもおいしくてわたしは一番大好きです。

わたしが住んでる八幡町に、有名な場所がたくさんあってうれしいです。みんなで力を合わせて、これからも良い町づくりをしていきたいです。



## 八幡神社

五年 田島 なずな

私は八幡神社のことについて調べてみました。なぜかという八幡に、二才から住んでいて初もうでや、七五三は、お参りに行ってたけれど八幡神社のことをくわしく知ることがなかったからです。

八幡神社は、第十五代天皇を祀っており、古くから地域の人々に信仰されてきました。

一國一社の八幡宮として千年以上の歴史を持っています。八幡の八幡様とよばれ親しまれています。県の重要文化財として指定されており、市の重要文化財でもあります。お祭のときは、大太神楽が演じられます。

八幡八幡宮の創けんは天徳元年と伝えられています。上野国一社八幡宮として由緒ある神社でとりわけ代々源氏の崇敬が深く、源頼義義家は奥州征伐の時に八幡八幡宮に必勝祈願を行い、戦に勝った結果、社殿を改築したとされています。

祭神は応神天皇で中世以降は源氏の氏神と考えられ、武家の間で武運の神として根強い信仰を集めてきました。

安産、子育て、五穀豊じょう、家内安全、商売はんじょう、厄除けなどのご利益があります。

わがやではお正月の初詣、七五三、厄よけ新車の交通安全のおはらい等氏神様として節目でお参りすることが習かんになっています。

また春になると桜が満開になりとても美しくお花見に出かけるのも楽しみです。

わたしは、八幡神社のことを調べて思ったことは、今まで八年間八幡神社に行ってきた、八幡神社の歴史や、み力について何も考えてきませんでした。

しかし、この夏休みの八幡作文をきっかけに八幡神社のことを調べて勉強になりました。これから、八幡神社に行ったときには、本殿や拝殿などを観察してこようと思いました。



## ★ 市民税・県民税申告出張受付 ★

令和8年3月6日（金）

午前9時00分 ～ 午後1時30分

場所 高崎市八幡公民館 集会室

## 2月の休館日のお知らせ

2月11日（水） 建国記念の日

2月23日（月） 天皇誕生日

## 《2月の読み聞かせ》

令和8年2月14日（土）

10時30分～11時

### ●ほん

- ・ がたんごとん がたんごとん
- ・ くみたて
- ・ うえきばちです

### ★かみしばい

- ・ あぶくたつた にえたつた



## 《3月の読み聞かせ》

令和8年3月14日（土）

10時30分～11時

### ●ほん

- ・ おんちのイゴール
- ・ こどもたちは まっている
- ・ わにさんどきっ

はいしゃさんどきっ

### ★かみしばい

- ・ おてんきのあじ